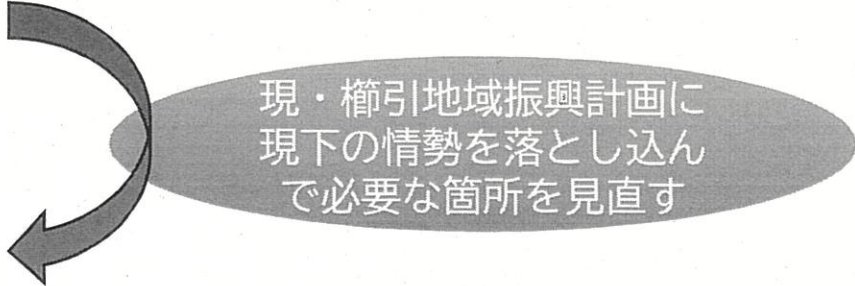


## 前提条件

- ①第2次総合計画から地域振興の章が創設された⇒今回から総合計画と地域振興計画の施策の方向（基本方針）・主な施策を一致させる。  
（前回、地域振興計画を先に作成⇒総合計画のフォーマットに当てはめたため内容は連動はしているものの表記に差異があった）
- ②総合計画は見直し策定となるため、それに合わせて地域振興計画も見直しの内容とする（計画を刷新するものではない）。
- ③総合計画に合わせて、地域振興計画も内容はシンプルな構成とする。

## 現下の情勢

- 人口減少・少子高齢化、担い手・人手不足(産業、コミュニティ、伝統芸能等)が5年前に比べてさらに加速
- デジタル技術の進展
- コロナ禍の影響からの回復（観光客、事業イベントの再開）
- インバウンド観光（訪日外国人観光旅行）需要の高まり
- 安全安心（防災等）や健康増進への意識の高まり



現・櫛引地域振興計画に  
現下の情勢を落とし込んで  
必要な箇所を見直す

## 見直しの視点

- 果樹栽培・観光果樹園やガイドの会など担い手対策、コミュニティ組織への支援（防災や事業の広域連携）。
- デジタル技術の活用や情報発信の強化、インバウンド観光に対応した体制整備。
- 改めて観光振興（アフターコロナ）に焦点を当て、観光・地域資源のスキルアップ  
（体験メニュー・加工品・お土産品等）と広域連携。
- くしびき温泉ゆ〜Townを核としたフレイル予防等による健康増進。



# 鶴岡市総合計画と櫛引地域振興計画と経過

## ○地域振興ビジョンの策定 (H20)

- ・ 計画期間の記載はなし

## ○地域振興計画の策定 (H25)

- ・ 計画期間 (H26~H30)
- ・ 総合計画の中間見直しに合わせて、新たに策定したもの

## ○鶴岡市総合計画の策定 (H20)

- ・ 計画期間 (H21~H30) H26~後期計画
- ・ H17の市町村合併を踏まえた新たな新市の総合計画
- ・ 市全体の指針であり地域 (旧町村) も含まれるが地域の振興についての具体的な記載はなし

## ○地域振興計画の策定 (H30)

- ・ 計画期間 (H31~R5)
- ・ 地域まちづくり未来事業の創設 (総合計画や振興計画と紐付け)

## ○第2次鶴岡市総合計画の策定 (H30)

- ・ 計画期間 (H31~R10)
- ・ 地域振興の方針を示す、地域の章を後から創設
- ・ 先に作業を進めていた地域振興計画の要素を当てはめて作成

## ○地域振興計画の見直し策定(R5)

- ・ 計画期間 (R6~R10)
- ・ 本体計画と連動となるため見直しとする

## ○同後期計画の見直し策定(R5)

- ・ 計画期間 (H31~R10) R6~後期計画
- ・ 現下の情勢を踏まえて計画内容の見直し

ア フルーツの里づくりと地域連携による交流人口の拡大

- ①果樹生産基盤の整備・促進
- ②フルーツの里ブランド化の推進
- ③体験型観光産業の振興
- ④首都圏修学旅行や農業体験受入れの体制を強化
- ⑤広域観光圏形成の推進と二次交通システム構築
- ⑥広域幹線道路の早期着工を要望

イ 黒川能など貴重な歴史文化の継承と活用推進

- ①黒川能保存伝承と情報発信の推進
- ②民俗芸能の継続支援
- ③歴史文化施設の活用推進

ウ コミュニティの活性化と安全安心な地域づくりの推進

- ①活力と持続性のあるコミュニティの推進
- ②協働のまちづくりと地域の賑わい創出
- ③高齢者等の交通環境の支援
- ④健康で安全・安心なまちづくりの推進
- ⑤地域資源を活用した地域づくりの推進

1) 果樹産地の特色を生かしたフルーツの里づくり

- 1)-1 果樹生産基盤の整備促進
- 1)-2 フルーツの里ブランド化の支援
- 1)-3 観光果樹園の拡大とネットワーク化
- 1)-4 担い手育成と樹園地流動化の推進

2) 農業自然体験に着目した都市農村交流の推進

- 2)-1 都市交流人口拡大の推進
- 2)-2 農業自然体験フィールドの充実
- 2)-3 体験型観光農業の充実

3) 地域を超えて連携する広域観光圏の形成

- 3)-1 南部(楡引・朝日・黄金)広域観光拠点の整備
- 3)-2 地域主体の二次交通システム開発
- 3)-3 広域観光幹線道路の整備促進

4) 黒川能など貴重な歴史文化の継承と活用推進

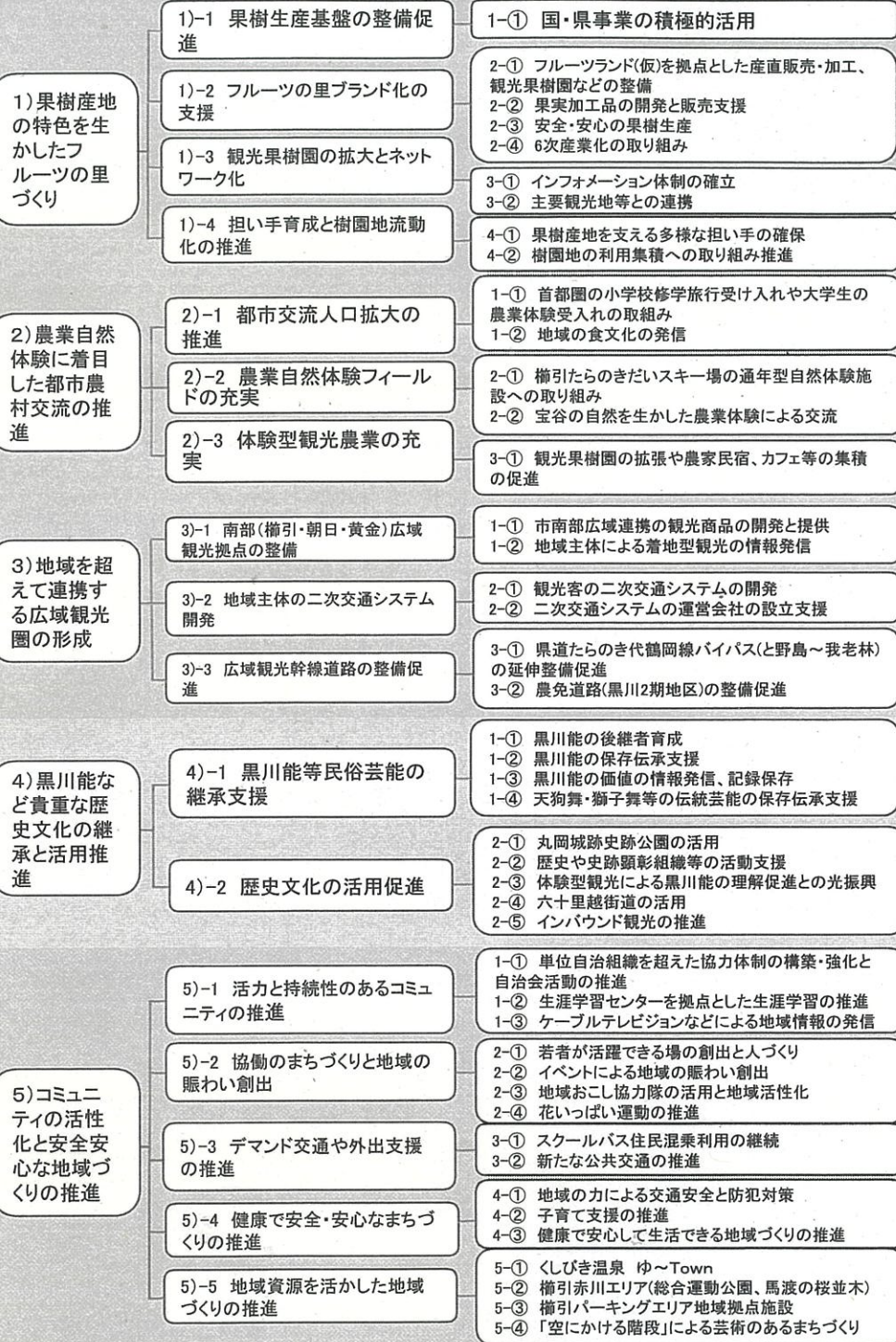
- 4)-1 黒川能等民俗芸能の継承支援
- 4)-2 歴史文化の活用促進

5) コミュニティの活性化と安全安心な地域づくりの推進

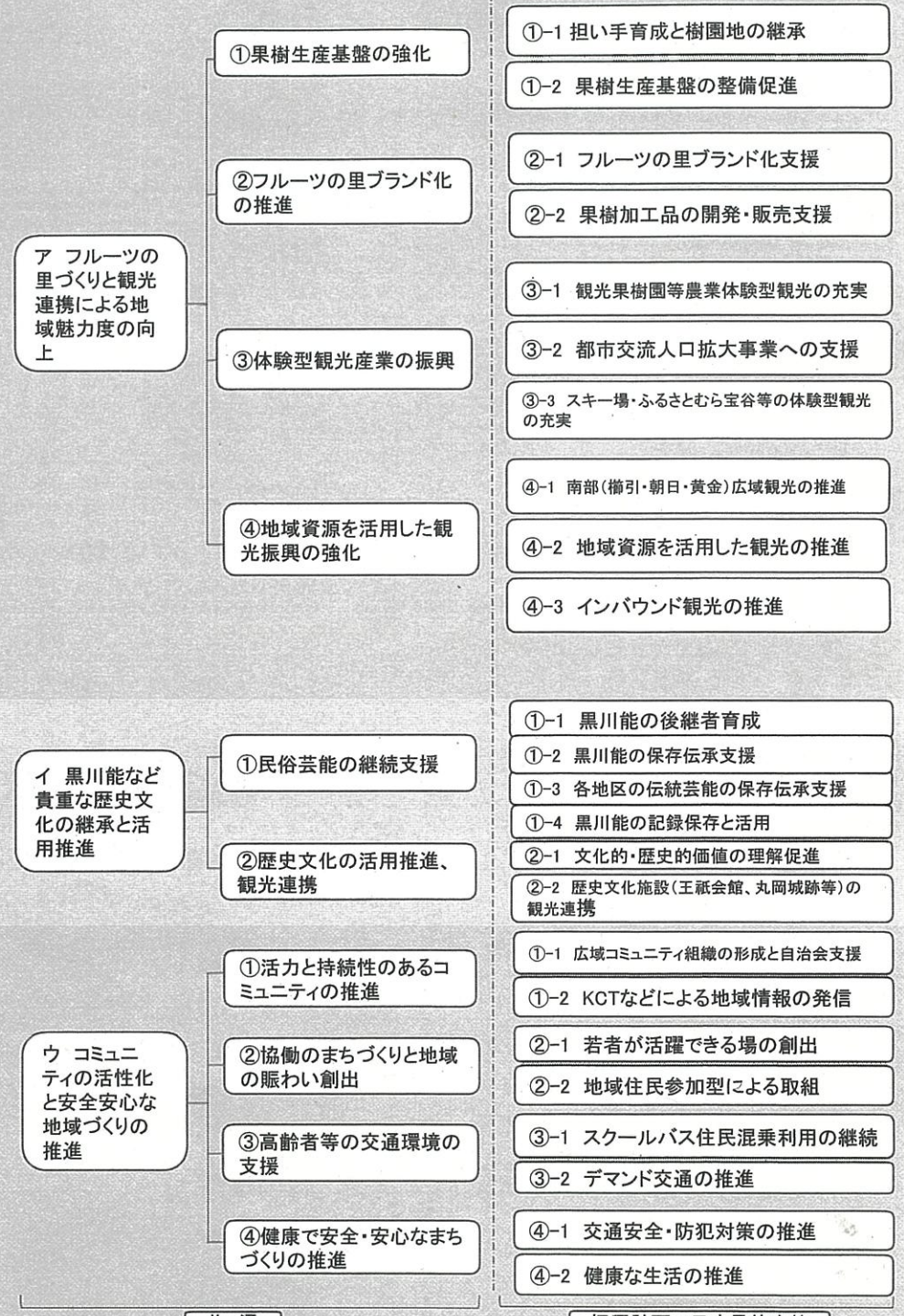
- 5)-1 活力と持続性のあるコミュニティの推進
- 5)-2 協働のまちづくりと地域の賑わい創出
- 5)-3 デマンド交通や外出支援の推進
- 5)-4 健康で安全・安心なまちづくりの推進
- 5)-5 地域資源を活かした地域づくりの推進

- 1-① 国・県事業積極的活用
- 2-① フルーツランド(仮)を拠点とした産直販売・加工、観光果樹園などの整備
- 2-② 果実加工品の開発と販売支援
- 2-③ 安全・安心の果樹生産
- 2-④ 6次産業化の取り組み
- 3-① インフォメーション体制の確立
- 3-② 主要観光地等との連携
- 4-① 果樹産地を支える多様な担い手の確保
- 4-② 樹園地の利用集積への取り組み推進
- 1-① 首都圏の小学校修学旅行受け入れや大学生の農業体験受入れの取り組み
- 1-② 地域の食文化の発信
- 2-① 楡引たらのきだいきー場の通年型自然体験施設への取り組み
- 2-② 宝谷の自然を生かした農業体験による交流
- 3-① 観光果樹園の拡張や農家民宿、カフェ等の集積の促進
- 1-① 市南部広域連携の観光商品の開発と提供
- 1-② 地域主体による着地型観光の情報発信
- 2-① 観光客の二次交通システムの開発
- 2-② 二次交通システムの運営会社の設立支援
- 3-① 県道たらのき代鶴岡線バイパス(と野島～我老林)の延伸整備促進
- 3-② 農免道路(黒川2期地区)の整備促進
- 1-① 黒川能の後継者育成
- 1-② 黒川能の保存伝承支援
- 1-③ 黒川能の価値の情報発信、記録保存
- 1-④ 天狗舞・獅子舞等の伝統芸能の保存伝承支援
- 2-① 丸岡城跡史跡公園の活用
- 2-② 歴史や史跡顕彰組織等の活動支援
- 2-③ 体験型観光による黒川能の理解促進との光振興
- 2-④ 六十里越街道の活用
- 2-⑤ インバウンド観光の推進
- 1-① 単位自治組織を超えた協力体制の構築・強化と自治会活動の推進
- 1-② 生涯学習センターを拠点とした生涯学習の推進
- 1-③ ケーブルテレビジョンなどによる地域情報の発信
- 2-① 若者が活躍できる場の創出と入づくり
- 2-② イベントによる地域の賑わい創出
- 2-③ 地域おこし協力隊の活用と地域活性化
- 2-④ 花いっぱい運動の推進
- 3-① スクールバス住民混乗利用の継続
- 3-② 新たな公共交通の推進
- 4-① 地域の力による交通安全と防犯対策
- 4-② 子育て支援の推進
- 4-③ 健康で安心して生活できる地域づくりの推進
- 5-① くしびき温泉 ゆ～Town
- 5-② 楡引赤川エリア(総合運動公園、馬渡の桜並木)
- 5-③ 楡引パーキングエリア地域拠点施設
- 5-④ 「空にかける階段」による芸術のあるまちづくり

現 振興計画



新 総合計画・振興計画 骨子 (案)



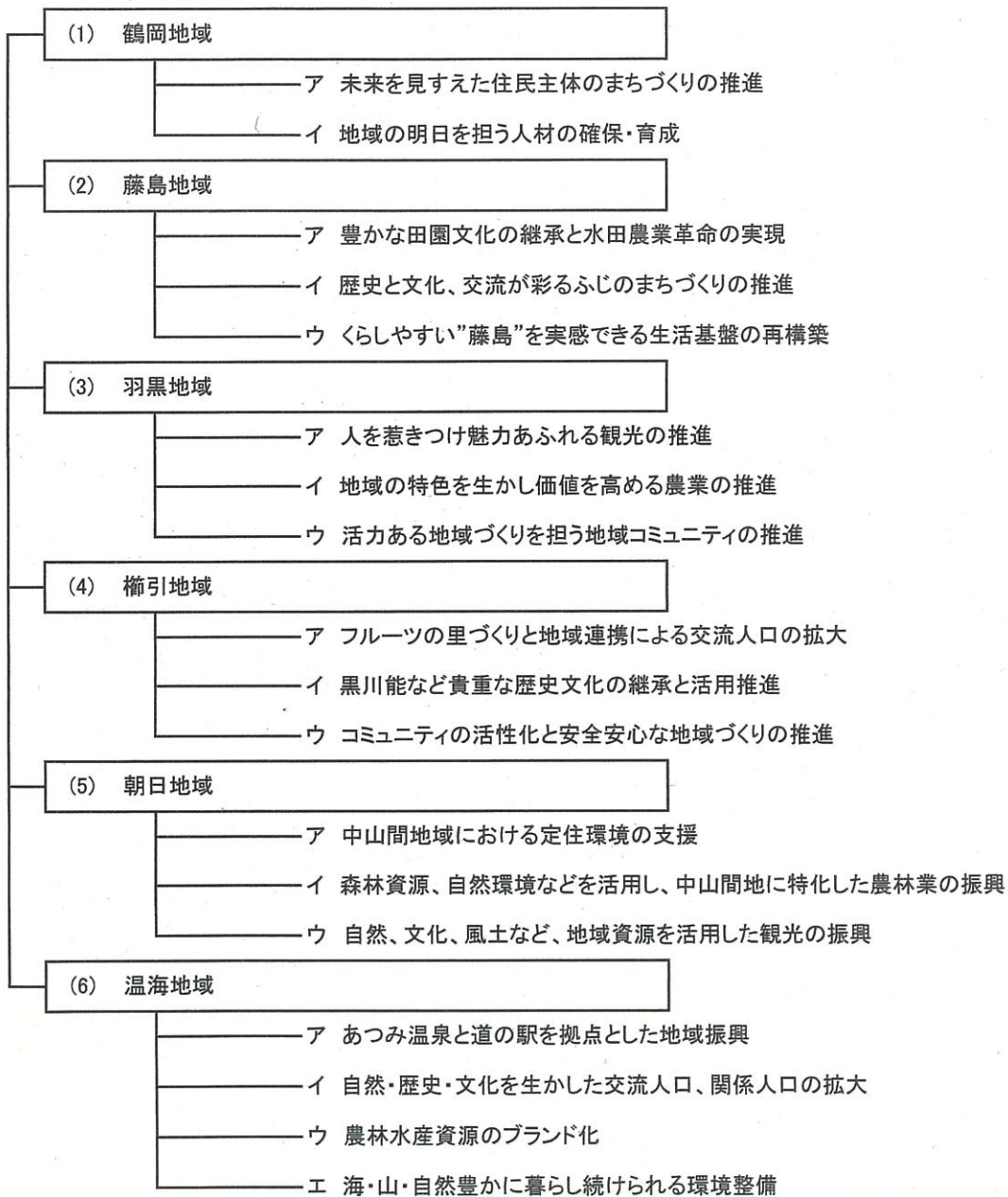
共通

振興計画で示す具体方策

## 第2次鶴岡市総合計画(前期計画) 第7章 地域の振興 (4) 櫛引地域 (現行)

## 7 地域の振興

各地域固有の特性や地域資源を最大限に生かし、地域住民が誇りと愛着を持ち、安心して暮らし続けることができる地域づくりを行います



## (4) 櫛引地域

櫛引地域は、本市を代表する果樹の生産地であり、黒川能をはじめとする伝統芸能や、丸岡城跡及び加藤清正墓碑などの歴史遺産が数多く残る地域です。さらには、中央を南北に貫流する赤川や庄内が一望できる中山間地などの豊富な地域資源を有しています。これらの特性を生かすことで、地域内外のたくさんの人々が集い交流する賑わいの創出と、ここに住む人が将来にわたって物心ともに豊かに暮らせる活力ある地域づくりをめざします。

櫛引の果樹生産の特徴である多品目生産と、観光果樹園や産直などの先進的な取組を生かし、「フルーツの里」としてのブランド化と果樹を中心とした産業振興の拠点づくりを進めます。また、農業体験や自然体験の環境整備を進めることで都市部との交流人口の拡大を図り、地域を越えて連携する広域の観光周遊の仕組みづくりに取り組みます。

黒川能を始めとする貴重な伝統芸能の保存と継承を支援し、あわせて観光資源としての活用を図ります。また、赤川周辺の施設や自然、芸術作品などを活用した憩いと賑わいの拠点づくりを進め、地域の活性化につなげます。

少子化や高齢化、人口減少などを見据え、住民の暮らしを守るための、地域コミュニティの維持活性化と、健康で安全安心な生活が送れる仕組みづくりを進めます。

### ア フルーツの里づくりと地域連携による交流人口の拡大

#### ○施策の方向

櫛引地域の農業の強みである少量多品目の特性を生かした果樹のブランド化により付加価値を高め、継続的で経営力のある産地形成をめざすとともに豊かな農業と自然を生かした都市農村交流を進め、交流人口の拡大を図ります。羽黒山や湯殿山などに代表される鶴岡の大きな観光資源を核にしなが、それぞれの特色を生かし地域を越えて連携する広域観光圏の形成を推進します。

#### ○主な施策

- ① 産直めぐり周辺を「フルーツランド(仮称)」として拡張整備を進め、ここを拠点に果樹園地の流動化の促進や果樹栽培経営体の法人化などの支援、ICTを活用した効率的な生産体制の強化を図るとともに、各種助成事業を積極的に活用することで、果樹生産基盤の整備推進に取り組みます。
- ② 庄内地域で随一の多品目生産の果樹産地として、限られた樹園地面積の中で、遊休農地の流動化と持続可能な園地循環の仕組みを構築し、ブランド戦略により付加価値の高い6次産業化商品の開発と首都圏への販売ルートの一環システムを確立し、果樹産地としての「フルーツの里くしびき」のブランド化を図ります。
- ③ 観光果樹園や農家民宿、飲食店などの経営の安定化や観光施設としての資質向

## (現行)

上、新たな開設などを支援し、農業体験型観光の拡大充実と果樹を資源とした観光ネットワークを展開します。

- ④ 首都圏の修学旅行や農業体験受け入れの体制強化を進めるとともに、これらの交流関係を持続的なものとする空き家を活用した交流ゲストハウスの開設に取り組みます。また、たらのきだ이스キー場の通年型自然体験施設の取組と宝谷の自然を生かした農業自然体験空間と事業の充実を図ります。
- ⑤ 南部広域拠点(櫛引、朝日、黄金)が連携する観光商品の開発や滞在型、着地型観光の情報発信と、地域デマンド交通と一体となった地域主体型の観光二次交通システムの構築を支援し、羽黒山などからの観光客の周遊を促す広域観光圏の形成を推進します。
- ⑥ 域内交通の利便性向上や観光振興に資する広域幹線道路について、周辺地域と連携し早期着工を関係機関に要望していきます。

### イ 黒川能など貴重な歴史文化の継承と活用推進

#### ○施策の方向

黒川能などの貴重な歴史文化を保存伝承していくため、地域全体でその価値を共有し、時代の変化に合った伝承の方策を探りながら新たな地域活動へつなげていきます。また、歴史文化の資源や遺産を活用し慣れ親しむ場を積極的に提供することで、保存伝承活動への理解促進と地域の活性化を図ります。

#### ○主な施策

- ① 黒川能保存伝承研究会※などの開催と、映像や音源の記録保存による伝承支援、また、能楽愛好者などの稽古や合宿誘致による黒川能ファンの獲得と、情報発信を推進します。
- ② 天狗舞獅子舞などの民族芸能の実態調査と課題の掘り起しなどを進め、民俗芸能の継承活動を支援します。
- ③ 丸岡城跡史跡公園と黒川能の里王祇会館への集客や利用拡大を関係団体と一緒に進め、地域の歴史文化の理解促進と地域の活性化を図ります。

#### ※黒川能保存伝承研究会

識見者による黒川能の歴史や行事食の可能性などを学習する機会とし、理解を深める取り組みを広げ、具体的な活性化の実践につなげることを目的とする、公益財団法人黒川能保存会主催事業。

### ウ コミュニティの活性化と安全安心な地域づくりの推進

#### ○施策の方向

地域コミュニティの役割が増す一方、その機能低下が懸念される中であって、担い手の育成や集落自治体制を補完する広域コミュニティの設置検討や集落の連携など

## (現行)

の新たな仕組みづくりを支援します。また、健康維持のための拠点づくりや新たな地域公共交通の構築など、健康で安全、安心に暮らせる環境整備を図るとともに、地域資源を生かした元気なまちづくりを推進します。

### ○主な施策

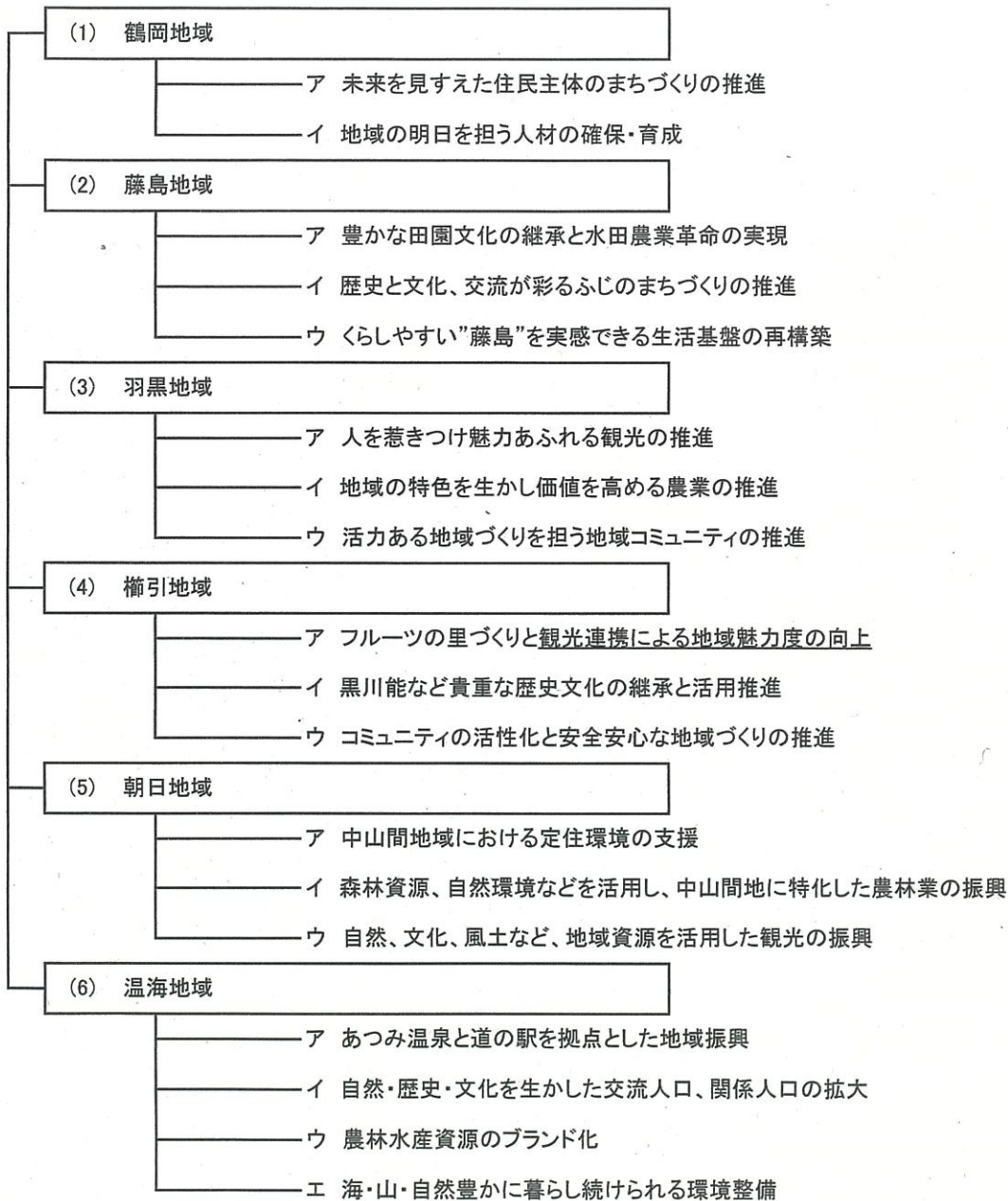
- ① 地域コミュニティ活性化推進のための集落支援体制の強化や櫛引生涯学習センターを拠点とした生涯学習の推進、また、ケーブルテレビを活用した情報発信と地域づくりの推進など、活力と持続性のあるコミュニティづくりを進めます。
- ② 将来の地域づくりのリーダーを育成する取組や鶴岡まちづくり塾によるイベントを支援し、協働のまちづくりと地域のにぎわい創出に取り組みます。
- ③ 新たな地域公共交通の構築を図り、子どもや高齢者など交通弱者の生活支援を推進します。
- ④ 住民同士の語りや交流活動、創作(ものづくり)活動、文化活動、レクリエーション活動の取組を促す事業を実施することで、健康で生きがいのあるコミュニティづくりを推進します。
- ⑤ 赤川河畔エリア(櫛引総合運動公園、桜並木)、くしびき温泉ゆ〜Town、櫛引パーキングエリア地域拠点施設、生き生きべんとう村及び彫刻家富樫実氏の「空にかける階段」の作品群などの地域資源を効果的に活用し、魅力と賑わいある地域づくりを推進します。



## 第2次鶴岡市総合計画(後期計画) 第7章 地域の振興 (4) 櫛引地域 (素案)

## 7 地域の振興

各地域固有の特性や地域資源を最大限に生かし、地域住民が誇りと愛着を持ち、安心して暮らし続けることができる地域づくりを行います



## (4) 櫛引地域

櫛引地域は、本市を代表する果樹の生産地であり、黒川能をはじめとする伝統芸能や、丸岡城跡及び加藤清正墓碑などの歴史遺産が数多く残る地域です。さらには、中央を南北に貫流する赤川や庄内が一望できる中山間地など豊富な地域資源を有しています。これらの特性を生かすことで、地域内外のたくさんの人々が集い交流する賑わいの創出と、ここに住む人が将来にわたって物心ともに豊かに暮らせる活力ある地域づくりをめざします。

櫛引の果樹生産の特徴である多品目生産と、観光果樹園や産直などの取組を生かし、「フルーツの里」としてのブランド化と果樹を中心とした産業振興の拠点づくりを進めます。また、農業体験など体験型観光の環境整備を進めることで都市部との交流人口の拡大を図るとともに、周辺地域との連携を強化し、様々な地域資源を活かした広域観光圏の形成を推進します。

黒川能を始めとする貴重な伝統芸能や歴史文化の保存と継承を支援し、情報発信や観光連携を進め、地域の活性化につなげます。

少子高齢化や人口減少などを見据え、住民の暮らしを守るための、地域コミュニティの維持活性化と、健康で安全安心な生活が送れる仕組みづくりを進めます。

### ア フルーツの里づくりと観光連携による地域魅力度の向上

#### ○施策の方向

櫛引地域の農業の強みである少量多品目の特性を生かした果樹のブランド化により付加価値を高め、継続的で経営力のある産地形成をめざすとともに豊かな農業と自然を生かした都市農村交流を進め、交流人口の拡大を図ります。羽黒山や湯殿山などに代表される鶴岡の大きな観光資源を核にしながらも、それぞれの特色を生かし地域を越えて連携する広域観光圏の形成を推進します。

#### ○主な施策

- ・ 円滑な園地継承体制の構築と果樹生産基盤の整備促進
- ・ 果樹の6次産業化商品の開発・販売への支援によるブランド化の推進
- ・ 観光果樹園や農家民宿等への支援と各種施設を活用した体験型観光の推進
- ・ 近隣地域との連携による観光周遊ルートの形成と地域資源の活用、情報発信

### イ 黒川能など貴重な歴史文化の継承と活用推進

#### ○施策の方向

黒川能などの貴重な歴史文化を保存伝承していくため、地域全体でその価値を共有

## (素案)

し、時代の変化に合った伝承の方策を探りながら新たな地域活動へつなげていきます。また、歴史文化の資源や遺産を活用した集客や利用拡大を進めることで、文化的歴史的価値の理解促進と、観光連携や地域の活性化を図ります。

### ○主な施策

- ・黒川能や天狗舞獅子舞など民俗芸能の継承活動への支援
- ・丸岡城跡史跡公園や黒川能の里王祇会館を通じた歴史文化の活用促進

## ウ コミュニティの活性化と安全安心な地域づくりの推進

### ○施策の方向

地域コミュニティの役割が増す一方、その機能低下が懸念される中であって、担い手の育成と集落自治体制を補完する広域コミュニティの設置検討や、防災連携などの仕組みづくりを支援します。また、健康増進のための拠点づくりの支援や新たな地域公共交通の確立など、健康で安全、安心に暮らせる環境整備を図り、元気なまちづくりを推進します。

### ○主な施策

- ・コミュニティの活性化や生涯学習の推進及びケーブルテレビによる情報発信
- ・協働のまちづくりと地域の賑わいの創出
- ・地域公共交通の確立を図り、子どもや高齢者など交通弱者の生活支援を推進
- ・交通安全対策や防犯活動の推進及び住民の健康増進や交流活動などを促進